

# 学校通信

学校生活における大切なお知らせです

10

2024 OCT.

第257号

## 学校長からのメッセージ

### ●自分の興味関心を仕事に結び付ける学び

世の中には様々な仕事があり、大人になってからも「こんな仕事があるんだ」と驚かされます。今、自分のやりたいことや将来のイメージがわからない人でも、どこかに自分にあう仕事があると思います。大切なことは、どのようにしてそこに近づけるか。まず①「自分が興味を持っていること、関心があるものはなんだろう」から始めてはいかがでしょう。そして②「それを深めるには、どうしたらいいのだろう」と想像し、③「どうすればそれが仕事に結び付けられるのか?」、そのような発想が、やりたいことや仕事を見つけるステップになるかもしれません。

### ●ガンダムは何学部で学べる?

参考に、京都大学准教授・塩瀬先生によるユニークな「キャリア教育」の授業を紹介します。「ガンダムを研究するなら、何学部になるか?」の問いで始まる授業に、生徒からは、「ロボット工学部」「宇宙工学部」など、ありそうな学部名が挙がります。さらに続けると、「未来材料学部」「エネルギー学部」など想像が広がり、実際に「未来ロボティクス学部」や「材料エネルギー学部」などの学部があることをネット検索し見つけた時には嬉しくなります。続いて小班に分かれ、挙げた学部から一つ選択し、そこに進学したとしてガンダムに関する研究テーマを決め、どのように仕事と結び付けられるかを協議するというものです。「未来材料学部」は、ガンダムの素材について。「ロボティクス学科」「人工知能学科」は、ロボット産業と関連づけるなど。私が昨年、横浜で見た実物大のガンダムは高さが18mもあり、建築基準法に則って作られたもので、これは法学部での学びにつながります。

### ●自分を見つめ、考える時間を

塩瀬先生は、「仕事を探すとき、職業リストを見るのではなく、自身の興味や関心事が何かを考え、それをどのように仕事に結び付けるか、その想像力を養うことが大切」と言われます。

この秋に、まずは自分をゆっくり見つめて、自分の興味、関心を深め、仕事とつなげることを想像してほしいと思います。今まで参加したことのない本校の学校行事や特別活動に参加するなども、そのきっかけになるかもしれません。

(校長 鍛治田 千文)

全き人に目を留め直ぐな人を見よ。平和の人には未来がある。(詩篇 37:37)





# 今月の聖句

「愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。」

(ヨハネの手紙 4章 11節)

(昨年 10 月のものを再掲載します)

「私たちが互いに愛し合う」という言葉を聞いた時、皆さんは思い浮かべられる愛し合う相手とはどのような存在でしょうか。家族であったり、友人であったり、相手が人間であることが多いのではないかと思います。けれども、私たちが愛し合う相手というのは、必ずしも人間でなければならないわけではありません。家族として共に過ごしているペットや、身近にいる様々な生き物たちも、愛し合う相手であるのです。

皆さんは「地域猫」もしくは「さくら猫」と呼ばれる猫をご存知でしょうか。そう呼ばれている猫とは、飼い猫ではないけれども、去勢や避妊の手術を施されてその地域で生活している猫のことです。そのしるしとして、耳の先をV字にカットされています。その耳の形が桜の花びらに似ていることから「さくら猫」という風に呼ばれるようになりました。さくら猫は子どもを作ることができません。ですから保健所で殺処分にせず、その命を全うできるように地域で見守って行きましょう、という思いが込められています。元はと言えば人間が身勝手に捨てたために繁殖した野良猫たちです。その猫たちをさらに人間の身勝手に殺処分にするという行為は、神様の造られた命を粗末にするという大きな罪でもあります。

もちろん猫だけではなく、鳥や魚や爬虫類、もっと小さな昆虫の命も神様が造られた大切な命です。人間が造り出すことのできないかけがえのない命です。その一つ一つの命を神様が愛しておられるのです。人間同士で愛し合うことも大切なことですが、それだけではなく、神様が愛しておられるすべての命を私たちが愛していくことができたなら、もっと素晴らしい世界に変えられていくのではないのでしょうか。

(福島義也 牧師 日本基督教団河内長野みぎわ教会)

